

決算認定議案の審査から

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定議案の審査が行われ、いずれも認定されました。

委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

ふるさと納税事業

問 半田市への納税額約1千6百万円に対し、出ていく税収は約2億1千万円で、前年度よりも約5千万円増えています。出ていく税収分を入りで賄えるように努めることでしたが、昨年度はどのように取り組みましたか。

答 昨年度、事業の改善に向け協議し、今年度は返礼品の品目を増やす等の見直しを行うとともに、イベント型のメニューを増やすことなど、市の他の施策とタイアップする事も検討しています。

シティプロモーション推進事業

問 この事業は主に、半田市への転入者の増と、定住者の増を目的に行っていると思いますが、平成30年度はどのように事業展開し、得られた成果はどのようなものでしたか。

答 平成30年度は主にテレビ局への営業活動を行いました。半田市を知っていたら、転居地として半田市を思い浮かべ、選んでいただくことを目指しています。放映

後は多くの方にお声がけいただき、手応えを感じています。

防災行政無線整備事業

問 平成30年度で無線配備が完了したとのことですが、屋外拡声器が聞こえづらいという声があります。屋外拡声器の音が届かない市民への対応は行いましたか。

答 屋外拡声器が聞こえづらい市民のために、聞き直しができる電話回線を配備しています。自治区長さんにお配りしている個別受信機を活用した情報伝達の検討を考えています。

クラシティ期日前投票所

問 期日前投票所としてクラシティを追加していますが、その効果はいかがですか。

答 利用率3%をラインとしてとらえ、3%を下回るものがなかったため、一定の効果があると考えています。

半田病院経営

問 昨年度、看護師の離職率が上がったことについて、看護師不足は、全国的な課題でありながら、中には不足していない公立病院もあります。そのような病院のノウハウを

得ることや、その他のように取り組みましたか。

答 公立の急性期医療を行っている看護局と交流を深め、情報交換を行った中で、看護師が看護師業務に専念できる環境を整えば離職率は下がると分析しましたので、看護助手を増やしていくことで、離職率も一昨年の7%台まで下げられると見込んでいます。

文教厚生委員会

亀崎地域総合福祉センター事業

問 利用者数が3年で、2万人以上減っていることについてどう考えますか。

答 定年後の就労、趣味の多様化などによって、利用者数が減ってきたものと考えられています。今後は施設運営上の問題も含め、利用者アンケート調査などを行い、施設の方角性や運営委託の内容について検討していきます。

児童センター管理運営事業

問 児童センターの老朽化に伴い、他施設との複合化に関する話し合いをしましたか。

答 施設の複合化の必要性については認識していましたが、本年度策定する「子ども子育て支援事業計画」の中で議論していきます。

いじめ不登校対策事業

問 相談件数、不登校生徒児童数が増えていることについてどう考えますか。

答 相談事業については相談を受けただけでなく、こちらからアプローチするようになったこと、一人の相談を複数回行うなど、手厚い支援を行うようになったことで増加したものと考えています。

中学校の部活動

問 土曜・日曜のうち、どちらかが部活動を実施できないことになっており、部活をやりたいけど、できないという声を聞いていますが、どのように考えていますか。

答 半田市では、スポーツ庁が示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき決定しており、子どもの健康を第一に考えた結果、現在の運用になっています。